

「COOL CHOICE」普及啓発に資する「ナッジ」の応用手法の研究と適用

活動地域  中部地方 (富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、三重県、愛知県)

ひろげる助成
3年目
調査研究

ナッジ活用事業アンケート調査回収数	439件
ナッジリレーセミナー参加者	108人
今年度計画の達成度	100%
目標達成度	100%



苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルス禍のため検証調査を予定していた普及啓発事業が軒並み中止になり、調査実施に苦労した。ただしアンケート調査件数については目標を達成した。

■ 工夫した点

研究会をオンラインで開催することで新型コロナウイルス禍に対応した。成果となる「クールチョイス普及啓発のためのナッジ活用ガイド」は「あるある事例」やアイデア集を掲載した。

課題

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」を推進する普及啓発について、現場で効果的に活用できる手法の枠組みを構築することは重要な課題である。

目標

社会行動への介入の考え方である「ナッジ」の応用手法を検証し、実地に活用して検証することにより、普及啓発の枠組みを構築することを、3年間の研究の最終目標とした。

活動内容と成果

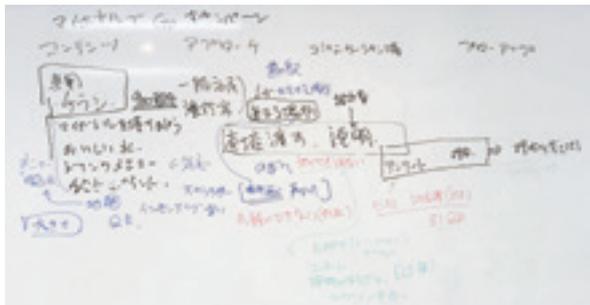
中部地方の地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）の参加の研究会を通じて、普及啓発事業のナッジ効果の検証のアンケート調査事例を追加した。また、これまでの成果を踏まえ、実務者目線の手引き「クールチョイス普及啓発のためのナッジ活用ガイド」を作成公開した。さらに5地域において「ナッジ・リレーセミナー」を開催し、地域センター職員や推進員へのナッジの理解と活用を促進した。



全助成期間の活動を振り返って

「中部COOL CHOICE普及啓発促進研究会」に参加した中部7県1市における普及啓発活動拠点（地域センター）の3年間の活動により以下の成果を得た。

- 研究会を7回、専門家WGを12回開催した
- 14事例の検証調査で行動変容2事例、意識変容6事例でナッジ追加の効果を確認した
- 手引き「クールチョイス普及啓発のためのナッジ活用ガイド」を作成、5地域で「ナッジ・リレーセミナー」を開催した



リレーセミナーワークショップ結果

〒461-0005
愛知県名古屋市中区東桜二丁目4番1号
電話：052-934-7295
HP：http://www.kankyosoken.or.jp/



今後の展望

本活動は普及啓発の「デザイン」の改善にナッジを用いるという視点での成果を得たことから、柔軟に多様な形で「ナッジ」を検討する有用なツールを「ガイドブック」という形で提供できたと考えられ、今後地域センターのみならず自治体の様々な普及啓発活動の中で活用されることが期待される。また、ナッジは「行動変容」のみならず、「意識変容」の効果も認められており、ESDにおける活用も期待される。